

＜北上医師会/注文のやんべな料理店プロジェクト 様＞

上映日：2024/1/13(土) 場所：北上市文化交流センター さくらホール(岩手県北上市)



「当事者の思いをちゃんと聞くことを大切にしたい」と多くの方に伝えられた

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

医師会では映画「ピア」を、プロジェクトでは認知症当事者の参加する料理店イベントを開催したことがありました。北上でこの映画上映会を企画し、その時にはできれば丹野さんも呼んで講演会も行いたいと思い、ゆくゆくは当事者ミーティングにつなげられればと考えていました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

複数の所属施設にわたる、医師、看護師、事務、社会福祉士、作業療法士、医療ソーシャルワーカーなどです。

●資金はどのように捻出しましたか？

主催者である医師会からは市民公開講座として予算を組み、他の諸費用はプロジェクトでプールしていた資金を利用しました。

●後援などをどのように依頼し、どういった協力を得られましたか？

各実行委員が所属する職能団体へ依頼したり、直接訪問してプレゼンしたうえで後援依頼を行ったりしました。

●地域の方や関係者にどのように告知をしましたか？

①市の広報誌、②Facebook、③チラシのDM、④コミュニティFMでの告知

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

丹野さんの対談と上映をセットにして実施しました。上映前に対談を行ったことで、より認知症当事者の思いを理解でき、その上で映画鑑賞となったため、理解の上でも感情の上でも深く感じ入った人が多かったです。

●上映会を開催してみて、いかがでしたか？

予想を上回る多くの方に参加いただき、上映会を実施して良かったと思いました。皆さんの反応も良く、認知症に対する認識もだいぶ変化したと思います。会の終了後に丹野さんをお交えロビーで話をする時間を設けたところ、当事者の方と家族の方が見えて色々話をされていました。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

専門職はもとより、一般の方にこそ観てもらいたい映画なので、告知の仕方次第で多くの方に観てもらえると思います。認知症に対する関心はあると思うので、関連する講座等とセットで上映会を組むというのもありだと思います。

ご担当者：櫻井 茂さん